

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	講師	氏名	北川 明
----	-------------	----	----	----	------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

現在、看護学・保健学と情報科学との融合を目指した看護情報学を主な研究分野としている。情報科学との融合とは、単に医療にコンピュータを導入するというものではなく、数理論や統計学を応用し、情報の収集、分析、管理を行い、サービスの向上を図るものである。

具体的には、①健康保健指導におけるeラーニングの教育効果と活用可能性の研究、②地域保健活動支援システムのあり方と構築に関する研究、③テキストマイニング手法を用いた定性データ分析方法に関する研究を行っている。

## 2. 研究業績

### ①著書・論文

#### <論文>

恒松美輪子, 北川明, 山口扶弥, 梯正之, 烏帽子田彰: 地域保健活動におけるICT活用推進のための効果的方策に関する研究—先進的自治体の保健師に対するインタビューを通じて—。医療情報学28巻5号, Page261-268, 2009.

#### <報告書>

- ・北川明: うつ病ってどんな病気?. 平成22年度福岡県立大学公開講座報告書, Page1-5, 2010.
- ・平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想プロジェクト中間報告書, 205Page, 2010. 3.
- ・他2報

### ②その他の業績

#### <学会発表>

- ・北川明, 生野繁子, 樫本和代, 坂井邦子, 金城忍, 中嶋恵美子, 塚原ひとみ, 正野逸子, 室屋和子, 清水夏子, 小森直美, 山住康恵, 安酸史子: 大学卒業1年目看護師の看護技術支援に関するニーズ. 第30回日本看護科学学会学術集会, 2010. 12.
- ・安酸史子, 飯野英親, 東玲子, 小野正子, 村山由起子, 前田由紀子, 石原逸子, 高橋清美, 日高艶子, 竹元仁美, 白水麻子, 松岡緑, 北原悦子, 北川明: 新人看護師の離職予防に向けたサポートモデルの開発. 第30回日本看護科学学会学術集会, 2010. 12.
- ・北川明, 磯貝恵美, 松浦賢長: テレビ会議システムを用いた遠隔健康教室の賛否についての意識調査. 第68回日本公衆衛生学会総会, 2009. 10.
- ・北川明, 恒松美輪子, 梯正之, 烏帽子田彰: テレビ会議システムを用いた遠隔健康教室の利点と課題—住民アンケートの結果から—. 第9回日本医療情報学会看護学術大会, 2008.
- ・他3回

#### <商業誌掲載>

- ・安酸史子, 北川明, 山住康恵: 看護系14大学が連携するケアリング・アイランド九州沖縄構想. 看護展望36巻4号, Page23-28, 2011. 2.
- ・杉野浩幸, 樋口善之, 北川明: 看護系学会抄録を作ろう!Word&Excel のらくらく操作と裏ワザ(第6回)(最終回)Excel 編知っておくと便利なExcel の裏技集. 看護きろくと看護過程19巻6号, Page47-52, 2010. 02.
- ・杉野浩幸, 樋口善之, 北川明: 看護系学会抄録を作ろう!Word&Excel のらくらく操作と裏ワザ(第5回)Word 編(その5)知っておくと便利なWord の裏技集. 看護きろくと看護過程19巻5号, Page94-100, 2009. 12.
- ・北川明, 中村秀敏: 【eラーニングに舵を切れ!教育から学習へ】eラーニングの目的と期待できる効果 eラーニングの効果的・効率的な導入のコツ. 看護(0022-8362)61巻14号, Page054-060, 2009. 11.

- ・ 杉野浩幸, 樋口善之, 北川明: 看護系学会抄録を作ろう!Word&Excel のらくらく操作と裏ワザ(第4回)Word 編(その4)実際に学会抄録を作成してみよう. 看護きろくと看護過程 19 巻 4 号, Page49-55, 2009. 10.
- ・ 杉野浩幸, 樋口善之, 北川明: 看護系学会抄録を作ろう!Word&Excel のらくらく操作と裏ワザ Word 編図表のレイアウト. 看護きろくと看護過程 19 巻 3 号, Page56-62, 2009. 08.
- ・ 北川明, 樋口善之, 杉野浩幸: 【「わかりやすい!」と言ってもらえる看護研究発表資料の作りかた】. SmartNurse(1883-5376)11 巻 8 号, Page899-912, 2009. 08.
- ・ 杉野浩幸, 樋口善之, 北川明: 看護系学会抄録を作ろう!Word&Excel のらくらく操作と裏ワザ Word 編基本的な書式を設定する. 看護きろくと看護過程 19 巻 2 号, Page59-65, 2009. 06.
- ・ 他 2 編

### 3. 外部研究資金

「e ラーニングを用いるうつ病患者を対象としたセルフマネジメント教育の開発」平成 21 年度科学研究費補助金 (若手 B) 課題番号: 21790504 (平成 21 年~23 年)

### 4. 受賞

第七回日本 e-Learning 大賞での厚生労働大臣賞受賞, 2010 年 7 月 28 日, 福岡看護 e ラーニング研究会

### 5. 所属学会

日本医療情報学会, 日本看護科学学会, 日本精神保健看護学会, 広島保健学学会, 日本公衆衛生学会, 医学生物学速報会, 日本健康教育学会

### 6. 担当授業科目

疫学保健統計学・2 単位・2 年・前期、看護情報学・1 単位・2 年・後期、医療保健福祉政策論・2 単位・4 年・前期、総合実習・2 単位・4 年・前期、看護管理論 I・2 単位・4 年・前期、専門看護学ゼミ・2 単位・4 年・前期、看護管理論 II・2 単位・4 年・後期、卒業研究・2 単位・4 年・後期

### 7. 社会貢献活動

- ・ ケアリング・アイランド九州沖縄構想、戦略連携室教員
- ・ 筑豊の明日を考える 30 人委員会委員
- ・ 福岡 e ラーニング研究会幹事
- ・ 直方市障害者施策推進協議会委員長

### 8. 学外講義・講演

- ・ 看護協会研修「看護研究の実際②」. 福岡県看護協会, 福岡
- ・ 皮膚・排泄ケア教育課程「情報管理」, 福岡県看護協会看護専門教育センター, 福岡

### 9. 附属研究所の活動等

- ・ ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員
- ・ 産学官連携ワーキンググループメンバー